

## 開 議

○浅野敏明委員長 おはようございます。

これから決算特別委員会を開きます。

本日の会議に欠席の通告委員はございません。

よって、ただいまの出席委員は定足数に達しております。

それでは、去る9月3日の本会議において決算特別委員会に付託になりました決算3件及び関連議案2件について審査を行います。

審査日程につきましては、既に配付しております会議日程表のとおりでありますので、ご協力をお願いいたします。

それでは、これから各会計決算及び関連議案の概要について説明を求めます。

### 認第1号 令和6年度長井市歳入歳出決算認定について

○浅野敏明委員長 まず、認第1号の令和6年度長井市一般会計歳入歳出決算について。

佐藤 久会計管理者。

○佐藤 久会計管理者 おはようございます。

認第1号 令和6年度長井市歳入歳出決算認定についてのうち、私からは一般会計に係る決算の概要についてご説明申し上げます。

決算書41ページをご覧ください。まず、歳入ですが、これから申し上げますのは、令和6年度の収入済額でございます。また、増加、減少につきましては、令和5年度との比較でございます。

1款市税は、個人市民税の営業所得や給与所得等の伸びがあったものの、市民税定額減税に

よる減収、収入減の影響が大きく、市税全体では2.7%減の30億3,885万3,899円となりました。調定額に対する収納率は99.4%でした。不納欠損額につきましては171万966円、収入未済額は1,679万6,363円となっております。

43ページに進み、2款地方譲与税は1億5,913万円で、0.6%の増、44ページに進み、3款利子割交付金は108万2,000円で、31.8%の増、4款配当割交付金は1,431万1,000円で、44%の増、5款株式等譲渡所得割交付金は2,090万3,000円で、74.8%の増、6款法人事業税交付金は4,791万1,000円で、5%の減、45ページに進み、7款地方消費税交付金は7億239万4,000円で、2.2%の増、8款環境性能割交付金は1,649万1,000円で、3.9%の減、9款地方特例交付金は1億3,942万3,000円で、355.5%の増、これは市民税定額減税による減収見込み分を補填するための交付金、こちらの増額によるものでございます。

46ページに進み、10款地方交付税は55億8,352万8,000円で、8.8%の増、47ページに進み、11款交通安全対策特別交付金は255万2,000円で、2.4%の増、12款分担金及び負担金は6,531万4,144円で、1.9%の増、48ページに進み、13款使用料及び手数料は1億2,558万2,556円で、6.4%の減、52ページに進み、14款国庫支出金は26億6,404万5,955円で、36.6%の減、これは新型コロナウイルス感染症関連補助金であったり、デジタル田園都市国家構想交付金の減が主な要因となっております。

58ページに進み、15款県支出金は11億3,901万4,185円で、2.4%の減、71ページに進み、16款財産収入は4,627万5,847円で、113.8%の増、これは清水町の旧調理場跡地を売却したことにより大幅増となっております。

72ページに進み、17款寄附金は8億5,606万8,855円で、41%の減、これはふるさと応援寄附金が減少したことによるものでございます。

73ページに進み、18款繰入金は12億5,712万5,795円で、48.1%の減、75ページに進み、19款繰越金は6億1,829万4,912円で、3.5%の減、76ページに進み、20款諸収入は5億283万6,099円で、8.4%の増、81ページに進み、21款市債は8億2,325万9,000円で、69.5%の減となりました。

以上、歳入合計では20.8%減少し、178億2,439万6,247円となっております。

85ページに進み、歳出でございますが、これから申し上げますのは、令和6年度の支出済額でございます。また、増減につきましては、令和5年度との比較となっております。

まず、1款議会費は1億6,522万228円で、1.9%の減となりました。

86ページに進み、2款総務費は38億7,254万1,169円で、40.8%の減となりました。

87ページに進み、2款1項総務管理費は35億3,146万9,289円で、43.5%の減、こちらにつきましては、公共施設等整備事業であったり、ふるさと納税事業が減少したことが主な要因となっております。

119ページに進み、2款2項徴税費は1億5,282万8,658円で、5.1%の増、121ページに進み、2款3項戸籍住民基本台帳費は1億1,378万9,109円で、22.7%の増、これにつきましては、戸籍の振り仮名対応など、システム改修が主な要因となっております。

123ページに進み、2款4項選挙費は3,903万8,916円で、121.3%の増、これは衆議院議員選挙及び山形県知事選挙が執行されたものによるものでございます。

127ページに進み、2款5項統計調査費は1,331万2,969円で、33.7%の増、129ページに進み、2款6項監査委員費は2,210万2,228円で、1.6%の増、130ページに進み、3款民生費は52億2,521万1,930円で、4.2%の増となりました。

1項社会福祉費は28億3,332万3,447円で、

2.4%の増、145ページに進み、3款2項児童福祉費は19億6,031万7,122円で、8.8%の増、こちらにつきましては、子どものための教育・保育給付事業やすみれ学園管理運営事業の増加などによるものです。

161ページに進み、3款3項生活保護費は4億2,657万1,361円で、4.5%の減、これにつきましては、主に職員人件費減によるものとなっております。

164ページに進み、3款4項災害救助費は500万円の皆増となっております。

次に、4款衛生費は13億1,987万1,541円で、3.7%の増となっております。

1項保健衛生費は4億6,374万4,078円で、1.4%の減、177ページに進み、4款2項清掃費は3億3,191万1,496円で、1.3%の増、179ページに進み、4款3項病院費は5億2,421万6,000円で、10.4%の増、これにつきましては、置賜広域病院企業団負担金が増加したものとなっております。

180ページに進み、5款労働費は4,575万4,400円で、ほぼ昨年度と同額となっております。

181ページに進み、6款農林水産業費は6億7,708万1,021円で、4.8%の増となっております。

1項農業費は6億3,667万3,063円で、3.2%の増、これは県営事業負担金の増加などによるものです。

195ページに進み、6款2項林業費は4,040万7,958円で、39.1%の増、これは林道維持補修事業の増加などによるものです。

198ページに進み、7款商工費は7億3,151万4,870円で、66.2%の減、タスビル改修事業や地域連携DMO支援事業の減少などによるものです。

211ページに進み、8款土木費は15億2,872万2,120円で、4.3%の減となりました。

1 項土木管理費は2,015万6,047円で、5 %の増、212ページに進み、8 款 2 項道路橋りょう費は8 億3,318万1,353円で、21.1%の増、これは道路除雪事業の増加が主な要因となっております。

218ページに進み、8 款 3 項河川費は5,239万7,661円で、75.5%の増、緊急自然災害防止対策事業の皆増によるものです。

220ページに進み、8 款 4 項都市計画費は5 億1,319万3,443円で、31.1%の減、これは都市構造再編集中支援事業の減少が主な要因となっております。

224ページに進み、8 款 5 項住宅費は1 億979万3,616円で、5.4%の減となりました。

227ページに進み、9 款消防費は6 億2,792万9,799円で、6.3%の減、これは非常備消防管理運営事業や防災ラジオ整備事業の減によるものとなっております。

232ページに進み、10款教育費は14億2,505万9,959円で、3.4%の減、1 項教育総務費は2 億341万4,331円で、4.4%の増、237ページに進み、10款 2 項小学校費は2 億9,464万5,441円で、14.2%の増、こちらは教師用指導図書購入が主な要因となっております。

243ページに進み、10款 3 項中学校費は1 億2,645万6,868円で、69.4%の減、こちらについては、中学校施設環境改善事業の皆減によるものでございます。

248ページに進み、10款 4 項社会教育費は4 億6,671万5,819円で、67%の増、こちらは文化的景観保護事業や置賜生涯学習プラザ、総合体育館大規模改修工事によるものでございます。

260ページに進み、10款 5 項保健体育費は3 億3,382万7,500円で、1.5%の増、268ページに進み、11款災害復旧費は1 億5,920万196円で、令和4 年8 月の豪雨災害の復旧に要した事業費となっております。

270ページに進み、12款公債費は15億5,208万

1,973円で、28.4%の減、271ページに進み、13 款予備費は、予備費支出及び流用増減として2,758万8,110円を計上し、不用額は241万1,890円となっております。

以上、歳出合計では20.8%減少し、173億3,018万9,206円となっております。

最後に、実質収支に関する調書についてご説明申し上げます。

327ページをお開きください。左側が一般会計の調書でございます。歳入総額が178億2,439万6,247円、歳出総額が173億3,018万9,206円、歳入歳出差引額が4 億9,420万7,041円となっております。翌年度に繰り越すべき財源としては、繰越明許費繰越額の6,197万225円となっておりますので、実質収支額としては4 億3,223万6,816円となっております。

以上が令和6 年度長井市一般会計歳入歳出決算の概要でございます。よろしくご審査の上、ご認定賜りますようお願い申し上げます。

○浅野敏明委員長 次に、認第1 号の令和6 年度長井市国民健康保険特別会計歳入歳出決算及び令和6 年度長井市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の2 件について。

桑嶋 徹市民課長。

○桑嶋 徹市民課長 おはようございます。

初めに、令和6 年度長井市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の概要をご説明申し上げます。

事項別明細書によりご説明いたしますので、決算書の273ページをお開きください。歳入のほうからご説明申し上げます。

273ページ、1 款国民健康保険税は、調定額4 億7,350万5,554円に対し、収入済額は前年度対比2.0%減の4 億4,211万643円となっております。調定額のうち270万400円を不納欠損処分とし、収入未済額は2,869万4,511円となっております。

274ページをお開きください。以下、令和6 年度の収入済額について申し上げます。増加、